

運賃制度問題がクローズアップ

適正収受へ業界が見直しを提起

トラック輸送の取引環境・労働時間改善中央協議会

第3回



第3回トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会およびトラック運送業の生産性向上協議会(座長 流通経済大学・野尻利明学長)が2月19日、国土交通省で開催され、トラック輸送状況の実態調査結果(概要2面)を報告するとともに、平成28年度から実施するパイロット事業や、27年度補正予算による生産性向上に関する取り組み、運賃・料金規制などについて審議した。協議会では運送取引の根底にある課題として、適正な運賃・料金収受の必要性が指摘され、運賃問題が大きくクローズアップされた(関連記事3面)。

協議会では冒頭、厚生労働省の三ツ林裕巳大臣、政務官と国土交通省の宮内秀樹大臣政務官があいさつ。安定した物流と安全確保の上で、トラック運送者の労働条件の改善を図る必要がある旨、それぞれ指摘した。

今回はまず、トラック運送者の労働実態を把握するため、昨年9月に実施した調査結果について報告。

運転者の拘束時間については、1運行当たり13時間を超える運行が4割近くあり、16時間を超える

る運行も1割強あった。特に長距離運行で長く、平均拘束時間は16時間を超え、運転者の労働時間に関する「改善基準告示」(1日原則13時間以内・最大16時間)を上回る運行が、少なからずあることが分かった。

こうした長時間労働の原因については、運転時間や待ち時間、荷役作業などをポイントに分析して改善策を検討し、28・29年度にパイロット事業を実施する。具体的には各地方協議会ごとに、それぞれ地域の実情や課題に応じて改善策を策定し、実証事業を行う。

また、27年度補正予算による生産性向上に関する取り組みについて説明。荷主業界ごとの商慣行などの実態を調査し、改善策を検討するとともに

に、適正な運賃・料金収受に向け、原価計算のあり方などを調査・検討する方針を示した。

さらに今回は、トラック運賃・料金問題を議題に取り上げ、バス・タクシー事業と比較しながら、トラック運賃は事後届出制に緩和され、最も

運転者の労働実態調査結果を報告

国土交通省自動車局の共同化による積載率向上の事例調査、③原価計算のあり方の調査・検討、必要な対策を検討する。④ITの活用可能性に係る調査を実施する。調査結果に基づきガイドラインなどを取りまとめ、必要に応じて適正な運賃を反映した適正な運賃収受に向けて実施するもので、既存の計算システムの使用実態などを調査し、適切な原価計算のあり方を検討する。

必要に応じて、モデルとなる原価計算システム・シートを作成し、その普及を図る方針。

国交省

生産性向上へ調査・検討 商慣行や原価計算の実態

平成27年度補正予算で、生産性向上に関する予算3.3億円が計上されたことに伴い、必要な対策推進に向けて調査・検討を行うもの。具体的には、①荷主業界ごとの商慣行・慣習の調査と対策検討、②事業

都交付金事業スタート

昭和53年

昭和51年度税制改正で、軽油引取税30%増税に当たり、営業用トラックの公共的役割などを考慮し、運輸事業振興助成交付金が創設されることになった。

翌52年から各自治体が相次いで交付を開始したが、東京都の場合、交付が53年までずれ込んだ。都は、いわゆる「富裕

団体」として地方交付税の交付対象ではなく、しかも当時、都は深刻な財政難にあり、交付に難色を示したから。このため、東ト協では早期交付を求めて要望活動を展開した。

難航の上、都は52年11月に交付方針を決定。これをを受けて東ト協は翌53年3月16日、臨時総会を開催し、交付金の事業計画などを決定した(写真)。



自治省(当時)は同年11月に、各都道府県知事に交付に関して通達し、

10月に創立10周年を迎え、記念式典を挙行了。

故大高会長「お別れの会」

3月7日(月) 午前11時~午後1時
帝国ホテル2階「孔雀の間」

東京都トラック協会は3月7日、故大高一夫会長「お別れの会」を執り行います。時間は午前11時から午後1時まで、会場は千代田区の帝国ホテル2階「孔雀の間」。

「お別れの会」は東ト協の星野良三名誉会長(全日本トラック協会会長)を委員長として執り行い、ご来場された順に献花していただきます。献花式は「孔雀西の間」で行い、引き続き、「孔雀東の間」で故人を偲んで懇談していただく予定です。

ご来場の際は、ご都合の時間に合わせて、平服にてのご来場をお願い申し上げます。なお、ご香典・ご供花・ご供物につきましては、固くご辞退申し上げます。

紙面あんない

トラック輸送の実態調査結果
東ト協・フェスタ実行委員会
東ト協三組織・合同新年会
東京都第10次交通安全計画案
都「貨物輸送評価制度」セミナー

7 6 5 4 2

軽油の価格

☆スタンド	平均=91.8円
☆ローリー	平均=77.5円
☆元売り発行カード	平均=86.7円
☆ディーラー発行カード	平均=83.0円

1月分

(東ト協調べ)

購入価格は、購入に関する諸要因(数量・支払条件・地域ほか)により多少の幅があります(消費税込み)。

規制が緩い状況にあることなどを説明した。

また国交省自動車局が、原価計算のあり方とあわせ、運賃制度問題について「勉強してみたい」(坂川直也貨物課長)とし、検討する方針を示した。

運賃WG提案 座長に一任

今年都内における送繁忙期の3月を控え、各会員事業者に対して、運転者に安全確認の徹底を指導するなど、警戒感をもって事故抑止に当たっているように呼びかけている。



東ト協

年度末繁忙期を迎え 事故抑止へ注意喚起

今年都内における送繁忙期の3月を控え、各会員事業者に対して、運転者に安全確認の徹底を指導するなど、警戒感をもって事故抑止に当たっているように呼びかけている。

この7件の死亡事故のうち、2件が小学生が犠牲となった自家用貨物車による死亡事故。また、事業用貨物車による死亡事故も1件あった。

このため、小学生に対する「地域ボランティアによる保護誘導活動」をはじめ、「交差点アイコンタクト運動」の推進、「前照灯の早めの点灯(午後4時)」などの取り組みを呼びかけている。

トラック輸送 実態調査結果

第3回トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会およびトラック運送業の生産性向上協議会(2月19日開催)で、平成27年9月に実施したトラック輸送状況の実態調査結果が報告された。

有効回答数は、運送事業者1252社・運転者5029人。

拘束時間

1運行13時間超37%
大型・長距離で長く

図1 1運行の拘束時間

車種	13時間以下	13~16時間	16時間超
全体	63.4%	36.6%	13.0%
普通	79.9%	16.9%	3.1%
中型	69.2%	23.2%	7.5%
大型	59.2%	24.2%	15.6%
トレーラー	62.3%	26.5%	11.3%

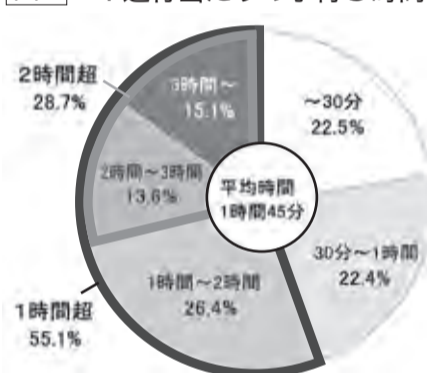
では平均11時間24分だが、長距離(500キロ超)では平均16時間43分と、「改善基準告示(1日原則13時間以内・最大16時間)を超える状況にある。

〈拘束時間〉 調査結果によると、運転者の拘束時間は、短中距離(500キロ以下) 34分より2時間近くも長

手待ちがある運行では平均13時間27分、手待ちがない場合の平均11時間34分より2時間近くも長

1運行平均1時間45分
2時間超も3割近くに

図2 1運行当たりの手待ち時間



別のみると、いずれも大型車の割合が高い。

1運行当たりの手待ち時間は平均1時間45分。1時間超が55.1%と半数を超え、2時間超も28.7%と3割近くある(図2)。手待ち1回当た

り待ち時間は平均1時間9分。1時間超が35.0%もあり、2時間超は13.8%だった。荷主都合による待ち時間の発生状況は、発着荷主で平均1時間11分、着荷主で1時間3分、いずれも1時間を超えている。時間指定がある場合でも、同程度の手待ち時間が発生している。

ただ、運賃に含んで受している場合がほとんどで、68.2%と7割近くに上り、運賃とは別に実費収受しているのは3.0%にすぎない。一方、荷役作業の事前連絡なしの場合は、収受していないが80.5%に達する。

全ト協青年部会 27年度 全国大会

全日本トラック協会青年部会(笠原史久部会長)が東京都トラック協会青年部本部長は2月12日、新宿区の京王プラザホテルで平成27年度全国大会を開催した。あいさつに立った星野良三会長は、労働力不足を喫緊の課題に挙げ、労働条件の改善などにより、「若い人を選ばれる業界にしていきたい」と強調した。



若者に選ばれる業界へ 生産性向上めぐり議論

冒頭、笠原部会長が開会のあいさつを行い、業界の将来を見据えて活動を展開し、「次世代の子供たちがこの業界に入りた善い、あこがれの職業となるよう一丸となって活動していきたい」と述べた。引き続き、星野会長が主催者あいさつに立ち、深刻化する労働力不足問題について、「各業界で獲得競争が行われており、喫緊の課題」と指摘し、労働時間・取引環境の改善に向けた取り組みを推進する考えを強調した。



東ト協・藤倉運輸が受賞 AEDトラックを導入

27年度「青年経営者等による先進的な事業取組に対する顕彰」では、東京都トラック協会の会員事業者・藤倉運輸(藤倉泰徳社長・足立支部長)が受賞し、星野会長から藤倉社長に対して表彰状と顕彰金が贈られた。

顕彰授与の後、藤倉社長が取り組み内容を発表。その趣旨について、トラック運送者が迅速に蘇生に当たることにより、トラックを「安全・安心の対象」へとイメージの改善を図るとともに、乗務する「運転者のヒーロー化」を目指した取り組みと説明した。

新型定期預金

マイナーベスト

有利な金利設定

固定金利の半年複利

1年、2年、3年から期間が選べる

お預け入れは50万円から

■ お問合せ・資料のご請求は
テレホンバンキングセンター (平日9:00~17:00、銀行休業日を除く)

0120-299-233

■ 詳しくはホームページで
<http://www.shokochukin.co.jp/>

平成20年10月1日、商工中金は株式会社になりました。

「中小企業による、中小企業のための金融機関」として引き続き、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、全力で努力を続けてまいります。

本店営業部
〒104-0028 中央区八重洲2-10-17
TEL: 03(3246)9080

新宿支店
〒160-0023 新宿区西新宿1-22-2
TEL: 03(3340)1551

押上支店
〒130-0002 墨田区業平3-10-8
TEL: 03(3624)1161

東京支店
〒105-0012 港区芝大門2-12-18
TEL: 03(3437)1231

池袋支店
〒171-0022 豊島区南池袋1-21-10
TEL: 03(3988)6311

深川支店
〒135-0042 江東区木場5-11-17
TEL: 03(3642)7131

大森支店
〒143-0016 大田区大森北1-1-10
TEL: 03(3763)1251

上野支店
〒110-0005 台東区上野1-10-12
TEL: 03(3834)0111

八王子支店
〒192-0081 八王子市横山町2-5
TEL: 042(646)3131

渋谷支店
〒150-0002 渋谷区渋谷2-17-5
TEL: 03(3486)6511

神田支店
〒101-0045 千代田区神田錦町3-3-12
TEL: 03(3254)6811

東ト協 フェスタ実行委員会

主な実施イベントなどを承

東京都トラック協会は、2月17日、東ト協総合会館で東ト協フェスタ実行委員会(委員長・彦田昌昭)の第7回委員会を開催し、オープニングセレモニーの内容や主なアトラクションなどを固めるとともに、各支部の参加・協力形式の提案内容について審議した。



「故大高会長は運送事業に成功させたい」と述べ、改めて協力を求めた。議題ではまず、開催に当たって必要な会場や運営スタッフに対する保険、飲食店運営に必要な保健所申請などに関する対応方針を了承。引き続き、オープニングセレモニーの内容について審議し、主催者・来賓あいさつ後の「事故ゼロ宣言」「エコドライブ宣言」(仮称)を行うことを決めた。具体的なタイトル・文案などは今後、担当の運輸安全委員会・環境委員会でそれぞれ検討する。

また目玉企画の一つである、マルシェ(市場)形式による物販・飲食エリアの設置に関して審議。関東各県に加え、東日本大震災に伴う原発事故で風評被害を受けている福島県のトラック協会に対し、農産品などの産直品販売の出展について協力要請する方針。青年部のネットワークを活用し、

具体的提案を行い働きかける予定。主なアトラクションに関しては、野外ステージでは交通安全ビンゴゲームや、警視庁の協力による交通安全教室、同庁音楽隊とカラーガード隊の演奏、「よさこい」各ステージの実施を要請することを固めた。このほか「チャリディング」「キッズダンス」などの実施について今後検討する。また、業界関係企業・

各支部の参加形式 提案・打診へ

団体に対する協賛依頼について、具体的な協賛・出展の提案内容を承認し、今後順次、協力要請を行うっていく方針。さらに各支部の参加・協力については、具体的に①イベント会場へのブース出展(模擬店など)、②野外ステージの利用(アトラクションなど)を提案し、協力を求める方針。

交通安全活動への貢献で 警視庁交通部長「感謝状」



東ト協 江森副会長

東ト協の江森副会長が2月18日、交通安全活動を積極的に推進した功績により、警視庁の大澤裕之交通部長から感謝状を授与され、表彰を受けた。

大澤交通部長(左から2番目)から感謝状を贈られた江森副会長(右隣)、および三藤晋也交通部参事官(左端)、阿武孝雄交通総務課長(右端)



特に警視庁主催のセーフティドライバー・コンテストへの参加促進を図るとともに、昨年10月には同庁と貨物自動車交通事故防止に関する協定を締結し、交通安全活動いっしょに安全ノーマンキャンペーンの推進に当たっている。

こうした取り組みにより、交通事故防止と交通秩序の確立に多大な貢献をしたとして、同氏の黄綬褒章受章(昨年秋季の褒章)に当たり、感謝状が贈られたものだ。



東ト協 適正化事業部 Gマーク認定

東ト協適正化事業部では、平成28年度の安全性優良事業所認定制度(Gマーク制度)に関して、更新申請を行う必要がある会員事業所に対し、必要書類の作成など早めの対応を呼びかけている。

24・25・26年度認定 更新申請が必要に

今年12月31日で有効期間が満了となる、更新申請の対象は、①初回更新/26年度に新規認定、②2回目更新/25年度に初回更新認定、③3・4回目更新/24年度に2回目もしくは3回目更新認定—の各事業所。

更新申請の場合、通常申請(新規認定と同じ申請方式、A方式)のほかに、「法令の遵守状況」や「安全性に対する取組の積極性」のみの評価を希望する特例申請(B・C・D・E方式)を選択できる。

申請区分(A~E)に応じて必

28年度の更新対象事業所 有効期間の確認・準備を

28年度の認定申請の詳細については、4月以降、全日本トラック協会がホームページ(HP)で公表するとともに、更新対象の事業所にその旨を通知する。

東ト協でも、HPに認定申請サポートページ(会員専用)を開設するとともに、新規・更新申請に関する事前説明会や、個別相談会を実施し、会員の認定取得をサポートする。

東ト協 女性部

12道府県の女性経営者 組織と意見交換会



交流の輪を広げ ネットワーク構築へ

東ト協女性部(本部長・原玲子副会長)は2月5日、新宿区の京王プラザホテルで、12道府県のトラック協会女性経営者組織などと意見交換会を開催した。

東ト協女性部は、かねて関東各県の女性経営者組織と意見交換会を開催しているが、昨年は愛知県道府県トラック協会女性経営者組織との意見交換会を開催し、交流の輪を広げている。

この後、女性経営者組織の活動のあり方や、各都道府県トラック協会女性経営者組織のネットワーク構築などについて、意見交換した。

同日は、原本部長のあいさつに続き、全日本トラック協会の山崎薫常務理事が、「全国の女性組織(女性部会等)との合同会議の開催について」と題して講話。

協会日誌

【2月15日】

- 1日 事務局部長会▽正副会長会▽特殊車両通行許可制度に関する研修会
- 2日 グリーン・エコプロジェクト(GEP)新春特別セミナー
- 3日 引越専門部会引越管理者講習会
- 4日 東京都図上訓練(視察)▽経営者実務セミナー▽食糧専門部会米穀委員会
- 5日 女性部女性経営者組織との意見交換会▽生コン専門部会役員会▽三組織合同セミナー▽同新年会
- 6日 初任運転者特別講習(7日)
- 7日 運行管理者試験事前講習会
- 8日 事務局部長会
- 9日 理事会▽東京運輸支局・街頭検査に協力▽GEPセミナー(10日)▽交付金事業実施計画案検討委員会▽適正化事業研修会
- 10日 物流経営士課程▽鉄鋼専門部会トレーラの安全対策フォーラム▽ロジ研正副部長会議▽同本部連絡会
- 12日 海上コンテナ専門部会定例業務委員会▽同東京港周辺道路における清掃活動▽GEPセミナー
- 15日 事務局部長会▽GEPセミナー▽ガバナンス小委員会
- 11日 15時30分 支部事務局事務長会議(吉池旅館)▽16時 鉄鋼・橋梁専門部会全体会議(東ト協会館)
- 14日 13時30分 東京都交付金事業審議委員会(東ト協会館)▽15時 東ト協フェスタWG(同)▽15時30分 人材養成基本問題検討委員会(同)▽17時 ロジ研本部連絡会(同)

日程ボード

【3月15日】

- 1日(火) 10時30分 Ⅱガバナンス小委員会(東ト協会館)▽13時30分 Ⅱ労務講習会(同)▽3日(木) 13時30分 Ⅱ50周年記念事業実行委員会(同)▽15時 Ⅱ50年史編集委員会(同)
- 2日(水) 13時30分 Ⅱ物流経営士課程(東ト協会館)▽14時 Ⅱ運送原価計算システムセミナー(同)
- 10日(水) 13時30分 Ⅱ環境委員会正副委員長会(東ト協会館)▽14時 Ⅱ同委員会(同)▽16時 Ⅱ新事務所ⅡⅠ510053渋谷区代々木2の23の1、ニーステイトメナー11032号▽03・6276・2472▽FAX 03・6276・2469
- 11日(木) 15時30分 Ⅱ支部事務局事務長会議(吉池旅館)▽16時 鉄鋼・橋梁専門部会全体会議(東ト協会館)
- 14日(日) 13時30分 Ⅱ東京都交付金事業審議委員会(東ト協会館)▽15時 東ト協フェスタWG(同)▽15時30分 Ⅱ人材養成基本問題検討委員会(同)▽17時 ロジ研本部連絡会(同)

お悔やみ 申し上げます

片桐 修氏(びあ社長・練馬支部)2月2日、肺がんのため死去。51歳。通夜は2月5日、告別式は翌6日にそれぞれ練馬区春日町の愛染院会館で。喪主は妻、美代さん。

東ト協 三組織合同新年会

東京都トラック協会 王プラザホテルで、平成27年度合同セミナーと28年度の合同新年会を開催した。

部長・女性部(原玲子本部長・副会長)の三組織は2月5日、新宿区の京



新年会は合同セミナーに続き開催し、来賓として東京運輸支局の高橋哲哉支局長、および東ト協の彦田昌昭会長代理をはじめとして、各副会長・支部長などが出席。また札幌地区および千葉・静

岡・愛知・滋賀・愛媛各県ト協の女性経営者などが参加した。

冒頭、故大高一夫会長に黙祷を捧げた後、主催者を代表して開催幹事である女性部の原本部長があいさつ。

「大高会長の三組織に対する期待は大きなものがあった。その期待を胸に歩んでいきたい」と悼み、創立50周年記念事業の遂行や業界課題の克服に向けて、「三組織が力を合わせ、協会の柱となつて頑張っていかなければならない」と呼びかけた。

引き続き、来賓として東運支局の高橋支局長があいさつ。運転者不足や労働時間・取引環境の改善に負けない結束力を持つ

「大高会長の三組織に対する期待は大きなものがあった。その期待を胸に歩んでいきたい」と悼み、創立50周年記念事業の遂行や業界課題の克服に向けて、「三組織が力を合わせ、協会の柱となつて頑張っていかなければならない」と呼びかけた。

引き続き、来賓として東運支局の高橋支局長があいさつ。運転者不足や労働時間・取引環境の改善に負けない結束力を持つ

「大高会長の三組織に対する期待は大きなものがあった。その期待を胸に歩んでいきたい」と悼み、創立50周年記念事業の遂行や業界課題の克服に向けて、「三組織が力を合わせ、協会の柱となつて頑張っていかなければならない」と呼びかけた。

引き続き、来賓として東運支局の高橋支局長があいさつ。運転者不足や労働時間・取引環境の改善に負けない結束力を持つ

「大高会長の三組織に対する期待は大きなものがあった。その期待を胸に歩んでいきたい」と悼み、創立50周年記念事業の遂行や業界課題の克服に向けて、「三組織が力を合わせ、協会の柱となつて頑張っていかなければならない」と呼びかけた。

引き続き、来賓として東運支局の高橋支局長があいさつ。運転者不足や労働時間・取引環境の改善に負けない結束力を持つ

「大高会長の三組織に対する期待は大きなものがあった。その期待を胸に歩んでいきたい」と悼み、創立50周年記念事業の遂行や業界課題の克服に向けて、「三組織が力を合わせ、協会の柱となつて頑張っていかなければならない」と呼びかけた。

引き続き、来賓として東運支局の高橋支局長があいさつ。運転者不足や労働時間・取引環境の改善に負けない結束力を持つ

「大高会長の三組織に対する期待は大きなものがあった。その期待を胸に歩んでいきたい」と悼み、創立50周年記念事業の遂行や業界課題の克服に向けて、「三組織が力を合わせ、協会の柱となつて頑張っていかなければならない」と呼びかけた。

引き続き、来賓として東運支局の高橋支局長があいさつ。運転者不足や労働時間・取引環境の改善に負けない結束力を持つ

「大高会長の三組織に対する期待は大きなものがあった。その期待を胸に歩んでいきたい」と悼み、創立50周年記念事業の遂行や業界課題の克服に向けて、「三組織が力を合わせ、協会の柱となつて頑張っていかなければならない」と呼びかけた。

引き続き、来賓として東運支局の高橋支局長があいさつ。運転者不足や労働時間・取引環境の改善に負けない結束力を持つ

「大高会長の三組織に対する期待は大きなものがあった。その期待を胸に歩んでいきたい」と悼み、創立50周年記念事業の遂行や業界課題の克服に向けて、「三組織が力を合わせ、協会の柱となつて頑張っていかなければならない」と呼びかけた。

引き続き、来賓として東運支局の高橋支局長があいさつ。運転者不足や労働時間・取引環境の改善に負けない結束力を持つ

「大高会長の三組織に対する期待は大きなものがあった。その期待を胸に歩んでいきたい」と悼み、創立50周年記念事業の遂行や業界課題の克服に向けて、「三組織が力を合わせ、協会の柱となつて頑張っていかなければならない」と呼びかけた。

引き続き、来賓として東運支局の高橋支局長があいさつ。運転者不足や労働時間・取引環境の改善に負けない結束力を持つ

「大高会長の三組織に対する期待は大きなものがあった。その期待を胸に歩んでいきたい」と悼み、創立50周年記念事業の遂行や業界課題の克服に向けて、「三組織が力を合わせ、協会の柱となつて頑張っていかなければならない」と呼びかけた。

引き続き、来賓として東運支局の高橋支局長があいさつ。運転者不足や労働時間・取引環境の改善に負けない結束力を持つ

「大高会長の三組織に対する期待は大きなものがあった。その期待を胸に歩んでいきたい」と悼み、創立50周年記念事業の遂行や業界課題の克服に向けて、「三組織が力を合わせ、協会の柱となつて頑張っていかなければならない」と呼びかけた。

引き続き、来賓として東運支局の高橋支局長があいさつ。運転者不足や労働時間・取引環境の改善に負けない結束力を持つ

「大高会長の三組織に対する期待は大きなものがあった。その期待を胸に歩んでいきたい」と悼み、創立50周年記念事業の遂行や業界課題の克服に向けて、「三組織が力を合わせ、協会の柱となつて頑張っていかなければならない」と呼びかけた。

引き続き、来賓として東運支局の高橋支局長があいさつ。運転者不足や労働時間・取引環境の改善に負けない結束力を持つ

「大高会長の三組織に対する期待は大きなものがあった。その期待を胸に歩んでいきたい」と悼み、創立50周年記念事業の遂行や業界課題の克服に向けて、「三組織が力を合わせ、協会の柱となつて頑張っていかなければならない」と呼びかけた。

引き続き、来賓として東運支局の高橋支局長があいさつ。運転者不足や労働時間・取引環境の改善に負けない結束力を持つ

「大高会長の三組織に対する期待は大きなものがあった。その期待を胸に歩んでいきたい」と悼み、創立50周年記念事業の遂行や業界課題の克服に向けて、「三組織が力を合わせ、協会の柱となつて頑張っていかなければならない」と呼びかけた。

引き続き、来賓として東運支局の高橋支局長があいさつ。運転者不足や労働時間・取引環境の改善に負けない結束力を持つ

中央支部青年部 児童用置き傘を寄贈

東ト協中央支部(中川卓三支部長、青年部(若田享也部長)が2月18日、中央区教育委員会に対し、東ト協と警視庁が連携して展開している交通安全活動「いっしょに安全」キャンペーンの、ロゴマークを入れた小学児童用の傘1150本を寄贈した。

社会貢献活動(地域教

創立50周年の大きな節目 新たな歩みへけん引役に

前方が見えるように一部を透明にしたもの。雨天時に活用してもらおうと、広く交通安全を呼びかける狙いから、「いっしょに安全」のマーク入りの傘を寄贈することにした。

3月上旬に、支部青年部が区内の小学校13校を訪問し、配布する。

支部青年部ではかねて、車イスの寄贈など社会貢献活動を行

27年度 合同セミナー

平成27年度三組織合同セミナーでは、講師の森下仁丹・駒村純一代表取締役社長が、「銀の粒」から生まれた最新技術！老舗企業の大転換経営とは？」と題して講演した。

「銀粒仁丹」で知られる森下仁丹は、明治26年創業(昭和11年設立)の老舗企業。生薬を銀で包む技術と特徴的な広告活動により業績を伸ばし、

新春特別セミナー

東ト協環境委員会(志村正之委員長)は2月2日、東ト協総合会館で平成27年度グリーン・エコプロジェクト(GEP)「新春特別セミナー」を開催した。

今年度から、経営基盤の強化を目的に開催している「経営戦略セミナー」の一環。

冒頭、志村委員長があいさつし、「GEP活動の取り組みは環境だけでなく、事故防止や企業内教育にも欠かせないもの」と述べ、一層の取

老舗企業の経営改革 森下仁丹 駒村社長が講演

この後、ロジ研の松本本部長が乾杯の発声に立ち、業界が直面する問題解決に向けて「総力を挙げて突破していこう」と呼びかけた。

また、今年10月の東京商工会議所・1号議員選挙に立候補の浅井隆副会長があいさつし、支援と協力を要請した。

歓談の後、青年部の笠原本部長が閉会のあいさつを行い、引き続き、足立支部の藤倉泰徳支部長の首頭で、参加者全員が「日本の運送業、ファイト・オー！」と氣勢を挙げ、課題克服を期した。

第3回 経営者 実務セミナー

東ト協は2月4日、東ト協総合会館で第3回経営者実務セミナーを開催し、新木経営情報研究所の新木啓弘代表が、「情報セキュリティの取り組みのポイント」と題して講演した。

新木氏はまず、SNS(ソーシャル・ネットワークサービス)の使い方に注意点を説明し、リスク管理を徹底した上で活用することが重要とした。

その上で、企業における情報セキュリティに関して、「マイナンバー法」や「個人情報保護法」「不正競争防止法」への対応のポイントを解説。

マイナンバー法では安全管理措置を怠ると、法人または人に対して罰金が科せられると注意喚起。

また、来年には、全

「いっしょに安全！」活動のロゴマーク入り

東ト協中央支部(中川卓三支部長、青年部(若田享也部長)が2月18日、中央区教育委員会に対し、東ト協と警視庁が連携して展開している交通安全活動「いっしょに安全」キャンペーンの、ロゴマークを入れた小学児童用の傘1150本を寄贈した。

社会貢献活動(地域教

27年度 合同セミナー

平成27年度三組織合同セミナーでは、講師の森下仁丹・駒村純一代表取締役社長が、「銀の粒」から生まれた最新技術！老舗企業の大転換経営とは？」と題して講演した。

「銀粒仁丹」で知られる森下仁丹は、明治26年創業(昭和11年設立)の老舗企業。生薬を銀で包む技術と特徴的な広告活動により業績を伸ばし、

新春特別セミナー

東ト協環境委員会(志村正之委員長)は2月2日、東ト協総合会館で平成27年度グリーン・エコプロジェクト(GEP)「新春特別セミナー」を開催した。

今年度から、経営基盤の強化を目的に開催している「経営戦略セミナー」の一環。

冒頭、志村委員長があいさつし、「GEP活動の取り組みは環境だけでなく、事故防止や企業内教育にも欠かせないもの」と述べ、一層の取

老舗企業の経営改革 森下仁丹 駒村社長が講演

この後、ロジ研の松本本部長が乾杯の発声に立ち、業界が直面する問題解決に向けて「総力を挙げて突破していこう」と呼びかけた。

また、今年10月の東京商工会議所・1号議員選挙に立候補の浅井隆副会長があいさつし、支援と協力を要請した。

歓談の後、青年部の笠原本部長が閉会のあいさつを行い、引き続き、足立支部の藤倉泰徳支部長の首頭で、参加者全員が「日本の運送業、ファイト・オー！」と氣勢を挙げ、課題克服を期した。

第3回 経営者 実務セミナー

東ト協は2月4日、東ト協総合会館で第3回経営者実務セミナーを開催し、新木経営情報研究所の新木啓弘代表が、「情報セキュリティの取り組みのポイント」と題して講演した。

新木氏はまず、SNS(ソーシャル・ネットワークサービス)の使い方に注意点を説明し、リスク管理を徹底した上で活用することが重要とした。

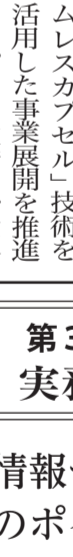
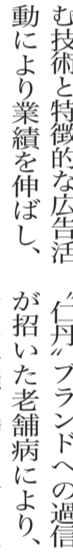
その上で、企業における情報セキュリティに関して、「マイナンバー法」や「個人情報保護法」「不正競争防止法」への対応のポイントを解説。

マイナンバー法では安全管理措置を怠ると、法人または人に対して罰金が科せられると注意喚起。

また、来年には、全

財務基盤の強化策や 事故防止へ特別講座

東ト協環境部の遠藤啓二部長がGEPの戦略的活用について、それぞれ説明した。なお、セミナー終了後、参加者による情報交換会が行われた。



トラック事故速報 死亡事故

問い合わせ先：東京都トラック協会 運行管理部 ☎03-3359-3618

◎ 交差点右左折時は、横断歩道手前で必ず一時停止し、指差し呼称を徹底すること!!

日時	2月9日(火) 13時46分頃発生(晴天)
場所	府中市内(新小金井街道<都道>)
当事者	事業用大型貨物車(40歳代男性) × 自転車(女性70歳死亡)
状況	
概要	事業用大型貨物車は、新小金井街道の信号機のある交差点を東八道路方向から多磨霊園方向に左折する際、横断歩道上を左方から右方に横断中の自転車を未発見のまま衝突、轢過したものの。

◎ トラックの駐車違反が関与する死亡事故に注意!!

日時	2月15日(月) 20時00分頃発生(曇天)
場所	大田区内(環八通り<都道>)
当事者	自動二輪車(男性46歳死亡) × 事業用大型貨物車(50歳代男性)
状況	
概要	自動二輪車は、環八通りの第1通行帯を目黒通り方向から中原街道方向に進行する際、何らかの理由により前方注視を怠ったため、駐車中の事業用大型貨物車に追突したものの。

「5つしよに安全」キャンペーン実施中

東京都

第10次交通安全計画

〈中間案〉



東京都交通安全対策協議会(会長・舛添要一都知事)は、平成28~32年度を計画期間とする「第10次東京都交通安全計画」の策定に向けて中間案を取りまとめ、2月に同案に対する意見募集を行った。

平成27年の都内における交通事故死者数は161人で、戦後最少となったが、第9次計画の目標(年間死者数150人以下)は達成できなかった。

これを踏まえ、第10次計画ではさらに事故防止対策を強化し、死者数125人以下、死傷者数2万8000人以下を目標に掲げ、その達成を目指す方針。

重点課題と主な取り組みは、①高齢者の交通安全の確保②自転車の安全利用の推進③二輪車の安全対策の推進④飲酒運転の根絶の4項目。

死者数125人以下に抑止 貨物車事故防止へ対策推進

具体的には、道路交通秩序の維持に向けて指導を取り締まりを強化し、その一環として過積載防止対策を推進する。

特に重量制限違反は、重大事故につながる危険があることから、重点的な指導取り締まりを行う。あわせて、都では「過積載防止対策庁内連絡会議」を設置し、都の公共工事などから過積載運行の車を

安全運転の確保対策では、対策の一環として貨物自動車事故防止対策を推進する。引き続き、トラックターミナルなどで「トラックストップ作戦」を行うとともに、児童などに対して貨物車の特性や死角などに関する交通安全教育を推進する。

安全運転の確保対策では、対策の一環として貨物自動車事故防止対策を推進する。引き続き、トラックターミナルなどで「トラックストップ作戦」を行うとともに、児童などに対して貨物車の特性や死角などに関する交通安全教育を推進する。

消防庁 危険物輸送の徹底を

消防庁危険物保安室はこのほど、全日本トラック協会に対し、「移動ターミナル等に対する立入検査結果について」を通知し、会員事業者に「危険物の移送等における保安確保のための留意事項」を周知した。

平成27年11月に実施した立入検査の結果、基準不適合車両の割合は17.3%とやや減少したが、依然として高い水準にある。特に重点項目に掲げる定期点検に係る義務違反が、他の項目に比べて

「青だけど車は私を見てるかな!」

「青だけど車は私を見てるかな!」

平成28年1月末現在の都内全域の交通事故発生件数は2,498件減少し、死者数は11人で同1人の減少となった。

営業用貨物車の関与事故(「違反別」表の「注」参照)発生件数は221件で、前年同月比4件減少し、死者数は3人で同3人の増加となった。

事故類型別では、右左折時の車両相互事故が28件で前年同月比9件の増加で、死者数はゼロだった。

違反別では、安全不確認による関与事故が64件で、前年同月比13件の増加となっている。

違反別 営業用トラック関与の交通事故 (平成28年1月末)

発生件数	安全不確認	前方不注意	交差点安全進行	歩行者妨害	一時不停止	ハンドルブレーキ	信号無視	徐行違反	右左折		その他	計
									右折	左折		
大型	10	5	2	0	0	1	1	0	0	0	6	25
関与事故件数	11	5	2	0	0	1	1	0	0	0	10	30
(前年比)	+3	+0	+1	-2	±0	-1	+1	±0	±0	±0	+9	+11
中型	17	19	3	1	1	5	2	0	0	0	15	63
関与事故件数	17	19	6	1	1	5	2	0	0	0	30	81
(前年比)	+9	+0	-1	-8	+1	±0	-1	±0	±0	±0	-6	-6
普通・軽	35	9	14	3	1	1	1	0	0	0	14	78
関与事故件数	36	9	19	3	1	1	1	0	0	0	40	110
(前年比)	+1	-10	+4	-2	+1	-4	-2	-1	±0	±0	+4	-9
合計	62	33	19	4	2	7	4	0	0	0	35	166
関与事故件数	64	33	27	4	2	7	4	0	0	0	80	221
(前年比)	+13	-10	+4	-12	+2	-5	-2	-1	±0	±0	+7	-4
死者数	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
大型貨物車(1当)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
中型貨物車(1当)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
普通・軽貨物車(1当)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注：営業用貨物車の関与事故件数とは、第1または第2当事者のどちらかが営業用貨物車であった事故の件数をいう。ただし、第1および第2当事者がともに営業用貨物車であった事故は件数を1件とする。 ※表中の(前年比)は、関与事故件数のもの。

国交省 東京五輪に向け 道路標識を改善

国土交通省道路局は、2020(平成32)年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、道路標識の改善を進める方針だ。

訪日外国人旅行者などに対して分かりやすくするため、東京都内に関する道路標識適正化委員会東京都部会が1月29日、今後の改善に向けた方針をまとめた。

改善内容は英語表記の改善や路線番号の活用、ピクトグラム(絵文字)と反転文字の活用、通称名の表記と文字サイズの拡大など。

会場施設周辺エリアや、観光庁選定の戦略拠点である押上・業平橋スカイツリー周辺や秋葉原、銀座、蒲田(羽田空港周辺)などを重点エリアとして、改善を進める。

トラック事業者のための 自動車共済

安全と安心をお届けして46年。
 関交協は、みなさまと共に歩みつづけます。



☎160-0023
 東京都新宿区西新宿7丁目21番20号
 Tel.03-5337-1750 Fax.03-5337-1765

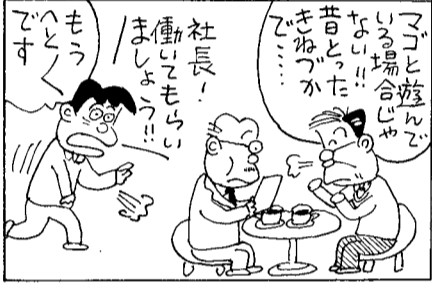
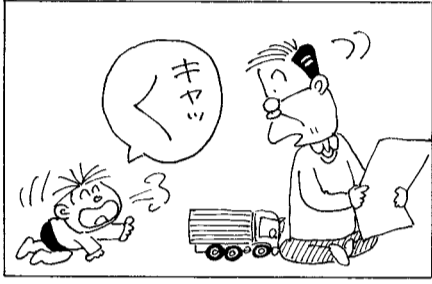
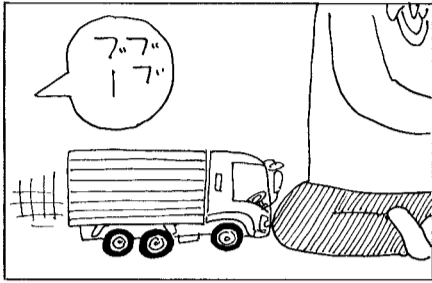
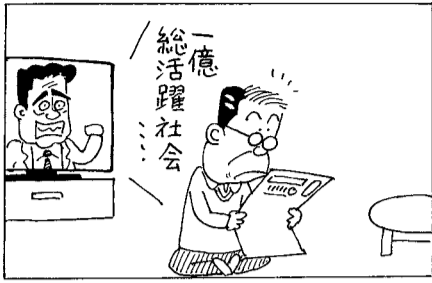
関交協 検索



アケセル君

No.786

芝罘☆友徳



エコドライブ推進でCO2削減・事故減少

東京都環境局は2月18日、千代田区の科学技術館サイエンスホールで「東京都貨物輸送評価制度セミナー」を初めて開催した。同制度に基づく取り組みを推進し、さらなるCO2削減を図るため開催したもので、運送事業者の先進的な取り組みや、荷主企業を交えたパネルディスカッションなどが行われた。

冒頭、都環境局の木村尊彦環境改善部長があいさつし、策定中の新たな環境基本計画について説明。「2030年までに2000年比で温室効果ガス30%削減を目指すこととしているが、これは「エコドライブ」の実践と効果」と題して基調講演。

トラック運送事業者のエコドライブ効果として、燃費8・7%向上や交通事故件数51%減少などのデータを示し、大きな成果を挙げていることを検証した。

さらに、継続的に取り組みを推進することが重要と強調し、エコドライブをマナーや礼儀作法とする「運転道」を説き、その実践を呼びかけた。

引き続き、東京都トラック協会の遠藤啓二理事長が、さらに取り組みを

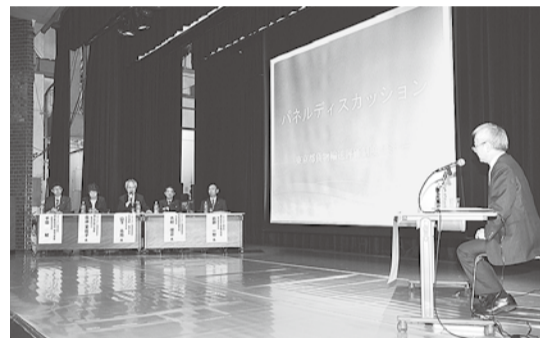
「貨物輸送評価制度」初のセミナー 評価事業者の積極的利用を

東京都環境局

東ト協GEP 取り組み成果アピール

通じて、運転者教育に役立つ効果などが指摘された。

なお、パネルディスカッションは大聖教授をコーディネーターに行われ、評価取得事業者の青柳運送・青柳保之代表取締役、大出運輸・山下義尚代表取締役、野辺運輸・佐藤美佐子取締役副社長、および理想科学工業理想新宿支店・前野一智支店長、都環境局自動車環境課・千田課長がパネリストとして参加。



また、都環境局環境改善部の千田敏自動車環境課長が、都の自動車環境対策について説明した。

この後、日頃のエコドライブの取り組みや効果、継続の必要性などをテーマに、評価取得事業者および荷主企業などを交えてパネルディスカッション。燃費向上CO2削減とともに安全運転の励行、さらに取り組みを

東ト協 鉄鋼専門部会 トレーラの安全対策フォーラム

東ト協鉄鋼専門部会(瀬尾君雄部会長)は2月10日、東ト総合会館で「トレーラの安全対策フォーラム」を開催し、トラックの最新技術や労働問題に関する講演などが行われた。

フォーラムは今年で7



最新の安全技術や労働問題をテーマに

回目を、東ト協専門部会をはじめ関東各県などの鉄鋼輸送事業者のほか、行政や荷主企業、車体メーカー、関係団体などから多数が参加した。

冒頭、瀬尾部会長が主催者あいさつ。「社会の要請に応えるためにはコンプライアンスを守るだけでなく、業界のスタンダードとなる規範を考へ、実行していかねばならない」と述べ、無事故・無災害への取り組みを呼びかけた。

また、東京労働局労働基準部監督課の宮地剛史特別監督官は、「道路貨物自動車運送事業者に対する監督指導の現状と課題」と題して講演。長時間労働の改善に向けた行政・トラック運送事業者

国交省

東京都・川崎市と協議会を設立

国土交通省 外環道東名湾岸道路間の具体化へ

は2月10日、東京都・川崎市と「東京外環道東名湾岸道路間」の整備計画の具体化に向けて、関係自治体との意見交換・検討を行う場として設立した。

首都圏の三環状道路は、都心部の慢性的な渋滞緩和による物流効率

化や首都機能の強化、災害

の最後の区間であるとも三環状道路の総仕上げとなる区間で、中央環状線や圏央道のような大きな整備効果が期待されることから、早期の具体化が待たれている。このため、東京都などが計画の具体化に向けて、協議会の設立を要望していた。

第1回協議会では、首都圏における道路ネットワークの整備状況や課題などについて意見交換。今後、計画の具体化に向けた検討の進め方などについて、さらに意見交換し議論を深めていくことにしている。

動向ファイル

◇1月分◇

●警視庁、全日本トラック協会および東京都トラック協会に対し、交通部長名で「交通安全対策のお願い」についてを発出。重大事故の抑止に向けて、特に都内に流入するトラック運送者に対し、安全運転の指導徹底などを求める(12日)

●平成27年度補正予算、可決・成立する。ETC2・0装着車を対象に、28年度も高速道路料金の大引・多頻度割引最大5割引の継続が決まる(20日)

●国交省、ETC2・0装着車を対象に、特殊車両通行許可手続きを簡素化する「特車ゴールド制度」を導入し、運用を開始する。複数経路の一括申請が可能になり、渋滞や事故などの交通状況に応じて経路選択ができ、輸送の効率化に役立つ効果が期待される(25日)

●東ト協、総務委員会に「ガバナンス小委員会」を設置し、第1回小委を開催する。小委員長に星信久・多摩支部長が就任する(27日)

●故結城幸彦氏「お別れの会」、結城運輸倉庫主催により執り行われる。同社社長で東ト協副会長を務めていた故人の遺徳を偲び、業界関係者多数が参列する(28日)

我々は想いや願いをお届けするプロ集団です

～荷主様の祝賀会、ホテル等の大きな会場へのお祝い花から、突然のご供花まで～

東京都トラック協会会員様特典
東京都23区及び、多摩地区一部地域のお届にしましては単価5,000円(税別)以上のご利用で会員様特別割引をさせていただきます。

株式会社 2-花園
TEL . 03-3706-4187
http://biz.youkaen.com



真田丸存亡が豊臣・徳川覇権争いを象徴

大阪冬の陣の原因 方広寺の鐘銘問題

放映は信繁15歳頃の話から始まった。だから、大阪城の出丸(突出陣地)「真田丸」登場はまだまだ先となるだろう。

「真田丸」が築かれたのは、大阪の役(1614~15年の冬の陣。大阪の役の原因は、日本3大名鐘とされる京都・方広寺の鐘銘ということは、よく知られている。

方広寺は東大寺大仏殿をしのぐ大仏殿に、高さ18尺の木製金漆塗の大仏座像を安置。地震で大破したため、秀頼が大仏を金銅に変えて復興した。その後に製造された梵鐘の銘文に、「国家安康」「君臣豊楽」の文字があり、これが家康(徳川)を切断して豊臣にひっくり返すとの呪詛が込められていると、徳川方は問題にした。

親子の情に勝るものなしか

1600年の天下分け目の戦い関ヶ原の合戦に勝利した徳川家康は、1603年、江戸に開幕。関ヶ原の合戦で1大名になった豊臣秀頼だが、官位(将来的には関白)は、家康に並び秀忠の上位。



今年のNHK大河ドラマ「真田丸」は、戦国武将の人気ランキングで上位常連の真田幸村(ドラマでは本名の信繁)が主役。昨年、真田関連本・ムックが書店の店頭を飾り、真田氏ゆかりの長野県上田市では、観光客の受け入れ準備が急ピッチに進むなど「真田丸効果」への期待は大きい。

大河ドラマの経済効果は100億円を上回るという。平成26年の大河ドラマ「黒田官兵衛」では約250億円(福岡・大分両県合計)という。



所在地、どのような構えかなど謎が多い

しかも、1604年の秀吉7回忌に催した法要の騎馬行列に豊臣恩顧の大名が参加し、祭礼イベントに乱舞・熱狂する町衆の様子に秀吉人を見取った家康が、徳川幕府の安定のため、関西の権威となつて豊臣氏を何とかしたいと思つたことは想像に難くない。

徳川幕府は家康のカリスマ性で維持していても、豊臣恩顧の大名と轡を並べた感のある秀忠が、大阪の力を吸収できるか心配したのだろう(3代家光は「生まれながらにして將軍」と別格性を宣言)。

関ヶ原の合戦後でも、家康は秀吉の意を汲んで、豊臣氏を立てた行動をしていたが、信長、秀吉と天下取りの行く末を身をもって見ていただけに、関東・関西の二重構造に将来の不安を覚えたのかもしれない。

徳川政権を安定させるため、災いの種を取り除こうと考えたとしても不思議ではない。

大阪城は西に大阪湾、北は大川(旧淀川)と大和川、東は湿地帯が一面に展開する要害の地であったが、南方面だけは緩やかな斜面で弱点となつていた。真田信繁はこの弱点を補強するため、長さ100間(180尺)からなる出丸を設けた。「真田丸」である。

真田丸は 強固な攻撃型出丸

敵方は、空堀を登って城壁に取り付いて攻め寄せようとするため、城壁をよじ登ろうとする敵方に横な斜め後方から、矢とか鉄砲で撃ち落とすのである。その効果は1日の戦いで真田側の損失がほとんどないのに、徳川方の1万人を超える兵を撃破したといわれる。

この真田丸が徳川・豊臣休戦の中で破壊され、地中に埋められた。家康を悩ました真田丸がなくなり大阪城の堀は埋められ、ここで勝負あったのだ。丸裸となった大阪城は大阪夏の陣で落城する。大阪城の弱点を守つたとされる真田丸だが、どこにあったか、どのような姿だったか、現在でも諸説あり分かつていない。



まちかど写真家 筑峯 総太

通運の軌跡を求めて

「通運」を辞書で引くと、まずは物を運ぶこと、運送、と出てくる。次に荷主と鉄道の間で介在して、荷物を鉄道に託送したり、受け取ったりすること、とある。通運の根底に

ポケット



は、荷物を滞りなく通す、という意味が込められている。

墨田区堤通二丁目の隅田川沿いに「隅田川神社」がある。一説には、源頼朝が創建したとされ、一帯の守り神として、水運業者や船宿、河川で働く人の信仰を集めた。この神社の境内に「佐々木莊助君之碑」がある。物流にかかわる方ならピンときた方もいるはず。

莊助は、常陸国真壁郡下妻(現茨城県下妻市)出身で、22歳で江戸に出て、吉村甚兵衛を頭取とする定飛脚問屋・和泉屋に就いた。寛永年間、江戸には定飛脚問屋が5軒あり、連携して信書や貨幣、物品運送を行っていた。

明治4年、政府は郵便事業を開始したが、これに定飛脚問屋が反対し、駅通寮(えききょ)は、常陸国真壁郡下妻(現茨城県下妻市)出身で、22歳で江戸に出て、吉村甚兵衛を頭取とする定飛脚問屋・和泉屋に就いた。寛永年間、江戸には定飛脚問屋が5軒あり、連携して信書や貨幣、物品運送を行っていた。

明治4年、政府は郵便事業を開始したが、これに定飛脚問屋が反対し、駅通寮(えききょ)は、常陸国真壁郡下妻(現茨城県下妻市)出身で、22歳で江戸に出て、吉村甚兵衛を頭取とする定飛脚問屋・和泉屋に就いた。寛永年間、江戸には定飛脚問屋が5軒あり、連携して信書や貨幣、物品運送を行っていた。



17段飾りひな人形

JR両国駅

3月3日は「桃の節句」。かわいい娘の成長と幸せを願い、各家庭ではひな人形が飾られ、春の彩りを添えている頃ではないでしょうか。

ひな人形は、家の中で大切に飾られているものですが、思わぬところに飾られているひな人形もありません。さて、どこに飾つてあるのでしょうか。

飾られているひな人形もありません。その場所は両国技館のすぐそばのJR両国駅の中。しかも、ホームへと通じる階段にひな人形が飾つてあるのではありません。

階段にひな人形を飾るといふ発想は、合理的なようにも思われますが、階段を使えなくなるため、実際に飾る人はほとんどいません。さて、どこに飾つてあるのでしょうか。

両国ステーションギャラリー

場 所：JR両国駅3番臨時ホーム入口
公開期間：2月29日(月)までの午前10時～午後5時まで
※期間延長の場合あり

三丁目

先頃、国土交通省は、事業用自動車事故調査委員会による、トラック事故の調査報告を発表した。報道された内容を見ると、2件あり、1件は大型トラック運転者の脇見運転と、制限速度を超える走行速度の可能性が高い、という原因結果が示されている。もう1件は睡眠不足による追突が原因とされる。◆運送事業には避けても避けてもつきまとうのが、忌まわしい「事故」である。誰もが起こしたく起こしているわけではない。何とか事故はゼロでありたい。これは悲願であり、そのために必死の努力をしているのである。◆だが、発表された2件ともかなり人為的ミスであり、真剣に運転操作を行ったとは言いがたい。脇見とか睡眠不足とか、言い訳にもならない事故は、プロの運転者として恥ずかしい。◆この際、管理者の責任も問われようが、その前に運転者自体の自覚も問われる。特に最近では、バスの重大事故が世の厳しい叱責を受けていることを考えると、トラックとしても心してかかるべきことを教えられる。運転者不足の折、厳しい宿題ではあるが、やらねばなるまい。